



中部教育事務所だより「絆」 10月②号



令和2年10月20日 (火)
発行所 中部教育事務所

オンラインによるエリアサポート推進協議会開催

さらなる協力・連携のために！

最近では、教育現場でも関係機関同士をオンラインでつないだ会議や研修会が増えています。中部教育事務所においても「みやざきの発達障がい教育推進事業 エリアサポート推進協議会」が10月1日の宮東エリアを皮切りに、6日に西都児湯エリア、9日に南那珂エリアで開催されました。

本推進協議会は、県内の特別支援教育のさらなる充実を目的として、エリアの県立高等学校、特別支援学校、市町村立小・中学校代表の校長先生、幼稚園・保育園、県教育委員会関係各課、市町村の教育委員会、保健・福祉担当課の代表者が一堂に会し、年1回実施されております。

今回の推進協議会の主な内容は「**エリア巡回支援における連携の在り方**」でした。委員からは、学校や教育委員会による支援に加え、保健や福祉分野の関係者による支援の可能性を提案いただくなど、「**各分野が協力・連携体制を充実させながら支援することの大切さ**」を再確認する会となりました。

中部教育事務所といたしましては、今後とも教育・保健・福祉分野との連携を図りながら、児童・生徒のために、特別支援教育の推進や充実に向けて尽力したいと考えております。



教育事務所によるコーディネート



連携の在り方について協議する委員

企業の力を教育に！

「みやざきの教育」アシスト事業



多くの活用
をお待ちし
ています。



講師の話を熱心に聞く児童の様子

テレビやラジオから聞こえてくる美しい声。県内で活躍されている現役アナウンサーから、直接「音読指導」をしてもらえるなんて、うらやましいの一言に尽きるとは思いませんか？

先日、木城町立木城小学校で、MRT宮崎放送の外種子田結アナウンサーを講師として迎え、詩の音読指導をしていただきました。外種子田アナウンサーの読み方を目の当たりにした児童は、声色や間を変えて読むことで、伝わり方が異なることを実感していました。その後「実際に読んでみる」という経験を通して、短時間で「読み方」が大変身しました。

その他にも、「生き方講座」として、ご自身がアナウンサーをめざすことになったきっかけなど、子どもたちの目線に立って話をしてくださいました。

現役アナウンサーから直接話を聞くことができたことで、アナウンサーに対する憧れをもったことはもちろんのこと、「**何のために働き、何のためにその仕事をするのか**」といった職業観・勤労観を育むことにもつながったと確信しています。

他にも、アシスト企業には、ホテル、銀行、新聞社、自動車販売店など多種多様の業種があり、10月1日現在、県内で268社が登録されています。キャリア教育などの授業支援や職場体験学習はもちろん、教職員研修や学校保健委員会の講師派遣にも活用してみたいかがででしょうか。原則「無料」で活用することができます。

アシスト企業利用方法の3STEP!!

1 「みやざき学び応援ネット」を検索



2 企業の力を教育に！「みやざきの教育」アシスト事業のバナーをクリック



3 アシスト事業のページが出たら連携したい企業を見つけ、「アシスト企業利用申込みフォーム」から申し込む。

不明な点がございましたら、遠慮なく家庭・地域教育担当の日高までご相談ください。

問合せ先：中部教育事務所
(担当：川崎)

TEL (0985) 44-3322
代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

Fax (0985) 44-3330